

山形市医師会 在宅医療・介護連携室ポピー 令和5年度 事業計画と進捗状況

在宅医療・介護の連携推進業務は、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために、医療機関と介護サービス事業者などの関係者の連携を推進する。

事業項目（仕様書～）	計画	進捗状況																												
<p>（1）地域の医療・介護サービス資源の把握</p> <p>関係機関との連携により、地域の医療機関、介護事業者等の所在地、機能等を把握し、既存情報と合わせてリスト等を作成する。作成したリスト等は、地域の医療・介護関係者や住民に、ホームページへの掲載等により広く公開を行う。</p>	<p>① 在宅医療サービス検索システム</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分更新作業（新規開業診療所） 2024年サーバーの対用年数などの関係でシステム終了する予定のため、今後の情報掲載手段を検討 <p>② ポピーホームページの運営</p> <p>新着やブログ更新、地域資源情報やリンクの集約点検作業</p> <p>③ 当事者や介護者のための資源情報の把握</p> <p>在宅療養者・介護者等、当事者が集う会やサロン等の情報把握・医療サービス情報検索システム更新作業（東南村山地域）</p>	<p>① 在宅医療検索サービス検索システム</p> <p>R5年更新作業完了 新規開業診療所4か所追加掲載、ポピーホームページPDF掲載、検索システム追加 現システム終了に伴い医師会HP医療機関検索との統合に向けて準備</p> <p>② ポピーホームページの運営</p> <p>サービス事業所一覧を新着と地域資源情報一覧に追加 ポピーホームページ在宅療養コンテンツ作成 ポピーインタビューブログに掲載（2）①参照</p> <p>③ 当事者や介護者のための資源情報の把握</p>																												
<p>（2）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討</p> <p>切れ目のない在宅医療・介護の提供体制に向けて、相談支援や地域ケア会議、地域の医療・ケアマネジャー等介護関係者が参画する会議等を通じて、在宅医療・介護連携に関する現状の分析と課題の抽出並びに解決策等の検討を山形市と共に行う。</p>	<p>① 在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> 実数把握・各種データの把握 在宅医療連携推進の会、自立支援型地域ケア会議の傍聴、拡大運営会議の実施 研修会や住民講座のアンケート 相談など ポピーインタビューや個別ヒアリングなど ポピーインタビュー更新（R4年度実績3回） 予定：市薬剤師会 佐伯氏、さくら町病院 PSW後藤氏 個別ヒアリング：各包括・他専門職団体・他機関などに出向き、連携の課題など聞き取り <p>② 対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形市・基幹型地域包括と現状分析や課題抽出を行い共有・対応策を検討する 	<p>① 在宅医療・在宅療養・医療介護連携等の課題の抽出</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談など ○市内医師から小規模多機能にロングステイされている方への診療について ポピーインタビュー：11月20日緑町kokoro薬局 薬剤師 佐伯氏 11月29日さくら町病院 PSW 後藤氏⇒2/14ブログに掲載（1）①参照 個別ヒアリング：7月～14包括への個別ヒアリング実施、 各圏域医療と介護の連携の課題について聞き取り・記録 8月～9月市内病院退院支援部署を訪問 <p>② 対応策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医療連携室との情報交換会に向けた課題整理 																												
<p>（3）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進</p> <p>高齢者が入院から退院後の在宅生活まで、切れ目ない支援を受け、安心して生活が送れるようにするため、山形市や職能団体、医療政策を担う山形県や村山保健所と連携協力しながら、地域の医療・介護関係者の理解促進と研修等による顔の見える関係づくりを行う。また、「山形市入退院支援フロー（地域版）」および「村山地域入退院支援の手引き」を活用し、病院や医療連携室、地域の診療所等とより連携しやすい環境に向けた取組を行う。</p>	<p>① 拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場）</p> <p>地域課題に沿ったテーマで開催</p> <p>② 医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 山形市版入退院支援フロー 活用状況の把握と課題点検、必要に応じた見直し、その他 コロナ禍での地域と病院の連携状況の把握 村山保健所主催「入退院調整ルール検討プロジェクト」再開に向けた地域や村山保健所との実態把握と情報交換 ケアマネと主治医・薬局のよりやり取りしやすい取組ワーキング 今後の展開（チラシ普及・活用・研修会実施等）への取り組み 基幹型地域包括支援センターと協力し、病院の連携室の方々が集まる連絡会開催に向けた働きかけ <p>③ ケアマネジャーと訪問看護の連携の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携を構築するための接点をつくる。 意見交換を通して今後の企画を検討・実施 	<p>① 拡大運営会議（在宅医療・介護関係者の協議の場）</p> <p>「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」は次年度の拡大運営会議で実施予定</p> <p>② 医療機関とより連携しやすい環境に向けた取組</p> <p>【山形市版入退院支援フロー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内包括ヒアリング項目に入れて聞き取り 【病院の退院支援部署連絡会の開催に向けた働きかけ】 6月23日 県ソーシャルワーカー協会伊藤会長と意見交換（基幹型） 7月10日 病院代表と意見交換（済生館 さくら町 千歳篠田 sw協会伊藤会長）市 基幹型 8月22日～30日 市内10病院の退院支援部署を説明訪問 （基幹型地域包括支援センター・山形市・sw協会伊藤会長） 12月11日 山形市地域医療連携室連絡会開催、会発足への合意と課題共有・意見交換 <p>【ケアマネと主治医・薬局のよりやり取りしやすい取組ワーキング】 チラシ完成 9月14日 居宅研修会にて・薬剤師との合同研修会 参加者 約80名 (3)②参照</p> <p>③ ケアマネジャーと訪問看護の連携の構築</p>																												
<p>（4）相談支援</p> <p>地域の医療・介護関係者、地域包括支援センター、住民等に対して、在宅医療、介護サービスに関する事項の相談を受け付け、必要に応じ医療関係者・介護関係者等の連携調整や相談者の意向を踏まえた関係機関の紹介等を行う。</p> <p>また、相談窓口や在宅医療・介護連携室の役割について、地域住民、関係者等に周知するとともに、個々の相談事例から明らかになった在宅医療・介護の連携のポイント等をまとめた事例集を作成、活用し、関係者等により一層の連携促進に向けた周知を行う。</p>	<p>① 相談窓口の開設</p> <p>月曜日～金曜日 9:00～16:00（祝日、12/29～1/3を除く） 地域の支援者・住民、他地域からの相談に対応</p> <p>② 窓口の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ポピーホームページ・チラシ・「医療と介護の連携ブック」配布・ 研修会や住民講座等による窓口の周知 <p>③ 自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加</p>	<p>① 相談窓口の開設</p> <table border="1"> <tr> <td>相談件数</td> <td>4月</td> <td>10件</td> <td>8月</td> <td>15件</td> <td>12月</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5月</td> <td>9件</td> <td>9月</td> <td>8件</td> <td>1月</td> <td>12件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6月</td> <td>12件</td> <td>10月</td> <td>15件</td> <td>2月</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>7月</td> <td>10件</td> <td>11月</td> <td>3件</td> <td>3月</td> <td>16件</td> </tr> </table> <p>※<u>べ</u>相談件数 140件</p> <p>② 窓口の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ポピーホームページ・チラシ・「医療と介護の連携ブック」配布 研修会や住民講座等による窓口の周知 <p>③ 自立支援型地域ケア会議、個別地域ケア会議への参加</p>	相談件数	4月	10件	8月	15件	12月	15件		5月	9件	9月	8件	1月	12件		6月	12件	10月	15件	2月	11件		7月	10件	11月	3件	3月	16件
相談件数	4月	10件	8月	15件	12月	15件																								
	5月	9件	9月	8件	1月	12件																								
	6月	12件	10月	15件	2月	11件																								
	7月	10件	11月	3件	3月	16件																								

<p>(5) 地域住民への普及啓発</p> <p>将来にわたって望む暮らしができるよう、在宅医療・介護、看取りを含む人生会議（ACP）、在宅療養等について、地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、おれんじサポートチーム等と連携し、「在宅療養リーフレット」や「普及啓発動画」「やまがた人生備えの書」等の普及啓発ツールを活用したフォーラムや住民講座の開催などにより、地域住民の理解の促進を図る。</p>	<p>① 普及啓発ツールの広報・周知・活用 「在宅療養リーフレット」や「普及啓発動画」「やまがた人生備えの書」等の普及啓発ツールを活用し相談対応や住民講座の開催、周知を行う</p> <p>② 関係者への教育支援や後方支援 地域の支援者がACPや在宅療養を理解し、普及啓発や住民支援が行えるよう、必要に応じて情報提供・相談・研修会などを行う。</p> <p>③ 住民講座への協力や講座開催の後方支援 地域からの依頼に応じ、在宅療養や人生会議などの普及啓発を目的とした講座への協力や後方支援を行う（R4年度実績 講座2件・レクチャー1件・サロン1件）</p> <p>④ 地域への情報発信 ポピーホームページにACPや在宅療養のコンテンツを作成</p> <p>⑤ 人生会議普及啓発ツール「いっぶぐカード」の検討 いっぶぐカードの完成を目的としたワーキング活動 地域での活動支援、他</p> <p>⑥ 次回、在宅医療・介護推進フォーラムに向けた検討 ・住民の興味関心をひき今後につながるテーマ・内容の検討 ・生活支援コーディネーターとの連携 ・準備・広報・開催時期の検討</p>	<p>① 普及啓発ツールの広報・周知・活用 「在宅療養リーフレット」「普及啓発動画」チラシ配布・説明</p> <p>② 関係者への教育支援や後方支援 ・7月5日 南西ブロック居宅包括合同研修会 「いっぶぐカードを使った地域住民への普及啓発」報告と体験会 参加者 70名 ・包括ふれあい人生会議普及啓発のためのツール開発について助言</p> <p>③ 住民講座への協力や講座開催の後方支援 【実施】5月19日＊ロータリークラブ「こんにちほポピーです～医療と介護連携に関わっています～」(鹿野) 8月22日＊霞城西部地域包括支援センター介護予防教室「介護予防と人生会議」(鹿野)24名 8月29日＊まちなか保健室健康教室「在宅療養の話」(鹿野)8名 10月3日＊第四地区社協「ACP＝愛称人生会議とは」(鹿野)73名 10月6日＊第二地区社協合同研修会「もしものときのために人生会議パートⅡ」(鹿野)62名 10月12日＊蔵王地区地域福祉推進会議 「人生会議と在宅療養～いつまでも住み慣れた所で自分らしい生活を送るために～」(鹿野)95名 10月13日＊南山形地区福祉道場「人とつながるいっぶぐカード・人生会議してみませんか」(鹿野)22名 10月17日＊まちなか保健室健康教室「いっぶぐカードを体験してみませんか」(鹿野・大場)9名 10月22日＊第2地区サロン「人生会議といっぶぐカード」(鹿野)24名 ＊蔵王成沢地区サロン「人生会議といっぶぐカード」(蔵王包括・大場)25名 1月15日・17日＊県中部郵便局局長会「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え」80名 1月23日＊楯山地区福祉協力員研修会「人生会議についてI～自分らしく生きるための準備と心構え」28名 2月2日＊大郷地区福祉協力員研修会「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え」17名 2月6日＊出羽地区福祉協力員研修会「人生会議について～自分らしく生きるための準備と心構え」17名 2月14日＊金井地域包括支援センター「人生会議について」31名 2月22日＊西武公民館サロン「人生会議について」8名 3月5日＊楯山地区福祉協力員研修会「人生会議についてI～自分らしく生きるための準備と心構え」28名</p> <p>④ 地域への情報発信 ポピーホームページに在宅療養のコンテンツを作成・公開</p> <p>⑤ 人生会議普及啓発ツール「いっぶぐカード」の検討 いっぶぐカードのブラッシュアップを目的としたワーキング実施 改定データ作成し山形西部包括と共有、活用に向けて検討 →（12月8日地域ケア調整会議に課題提出） 包括や生活支援コーディネーターからの問い合わせに対応・サロンへの出張 神戸市西区社会福祉協議会よりお問い合わせ・対応 福山市医師会よりお問合せ・対応</p> <p>⑥ 次回、在宅医療・介護推進フォーラムに向けた検討 令和6年6月22日（土）山形ビッグウイング2階大会議室予約済み 社会学者 上野千鶴子氏「おひとりさまでも最期まで自分の家で」講師依頼済み 第2部企画準備・チラシ完成</p>
<p>(6) 在宅医療・介護サービス等の情報共有の支援</p> <p>多職種連携ネットワークシステム「ポピーねっとやまがた」や「山形市入退院支援フロー（地域版）」、「村山地域入退院支援の手引き」の活用効果や好事例の紹介などにより、これらのツールの普及を進め、医療・介護に携わる多職種間の連携と情報共有を促進する。</p>	<p>① 多職種連携SNS「ポピーねっとやまがた」 ・活用状況やMCSシステム状況の把握 ・運用ルールの普及（情報の管理やマナーなど） ・事務手続きや操作などの相談支援 ・患者タイムライン構築への協力支援 ・普及啓発のための情報発信・研修など</p> <p>② 「山形市入退院支援フロー（地域版）」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・山形市入退院支援フローの点検・見直し ・改定版の周知（改定完了時）</p> <p style="text-align: center;">仕様書（3）再掲</p>	<p>① 多職種連携SNS「ポピーねっとやまがた」 ・矢吹病院相談室より院内活用の相談、出張説明（導入支援） ・無料・有料プランについての情報発信 ・登録事業所100事業所 登録者352名（新規登録者3名・削除2名）</p> <p>② 「山形市入退院支援フロー（地域版）」と「村山地域入退院支援の手引き」 ・村山保健所アンケートに合同会議の必要性や手引きの点検作業についての意見提出 ・市内包括ヒアリングにて活用状況把握 ・村山保健所医療介護連携拠点意見交換会に課題提出、点検と見直しの必要性について意見</p>

<p>(7) 在宅医療・介護関係者の研修など</p> <p>地域の医療・介護関係者に対する研修や出張勉強会などの開催及び支援を行い、認知症など中重度の要介護状態や医療依存度が高い高齢者への看取りを含む支援、本人の意思を尊重した支援、在宅医療・介護連携における対応力を高め、多職種によるチーム支援の推進を図る。</p>	<p>① 研修会の実施 上記仕様書(1~7)に対応した研修項目、体系を計画予定 (市・基幹型と協議し5月中に計画予定) R4年度実績 7回(フォーラム、医療福祉研修会、緩和ケア研究会含む)</p> <p>② 研修会などの開催手段や方法の検討・対応 コロナをめぐる感染状況や社会状況に応じた実施方法の検討</p> <p>③ 介護系事業所向けの研修 ・歯科衛生士会と口腔ケアに関する研修動画を一般公開予定 ・出張勉強会の段階的な計画・実施</p> <p>④ 医療と介護の連携交流会の開催に向けた検討</p>	<p>① 研修会の実施 ・4月14日「認知症患者の食問題への支援と人工栄養経路の意思決定に関するワークショップ」 講師：山形大学附属病院 精神専門看護師 齋藤朝子氏 19名 ・10月18日 ふらっとカフェ「困難事例【大変だあ】を話してみよう！」 23名 ・11月24日 医療福祉研修会(済生館と合同)「嚥下障害の方への食支援」 49名 ・1月25日 認知症の食問題に関する意思決定支援 講師：山形大学医学部精神医学講座准教授 小林良太氏 山形大学附属病院 精神専門看護師 齋藤朝子氏 51名 ・3月7日 ふらっとカフェ「ハラスメント」 ・3月14日 短下肢装具地域連携交流会(通所リハ・訪問リハ連絡会と共催) 講師：済生病院理学療法士 阿倍恭子氏、山形義肢研究所義肢装具士 植松茂也氏 30名</p> <p>② 研修会などの開催手段や方法の検討・対応</p> <p>③ 介護系事業所向けの研修 ・7月25日(火)17:30~「山形県感染対策WEBセミナー」(共催：丸石製薬) 講師 済生会病院感染制御実践看護師 川合英樹氏 参加者 63名 ・8月16日~9月18日「山形県感染対策WEBセミナー」オンデマンド配信 参加者20名 ・8月1日~令和6年3月31日「口腔ケア公開講座」(協力：山形県歯科衛生士会) ・YouTubeポピーチャンネルで20分程度の動画を5本公開 参加者：97、55、66、50、52 ・技術研修として歯科衛生士を派遣する出張勉強会も同時募集</p> <p>④ 医療と介護の連携交流会の開催 ・8月31日(木)19:00~ 山形国際ホテル 参加者 74名</p> <p>⑤ その他(講師など) ・2月27日包括かがやき居宅研修会「人生会議〜いっぶぐカードを使って価値観を引き出す会話術を体験しよう」 講師：鹿野担当 19名</p>
<p>(8) その他必要な事業</p>	<p>① 拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催 運営委員の状況に応じて5月、7月、9月 11月、3月予定</p> <p>② ポピーホームページの充実</p> <p>③ 各種会議への参加(随時) 「医療と介護の連携」に関する意見や情報の発信を行う</p> <p>④ 地域の医療や介護の課題に関する事業への協力 ・認知症医療ネットワーク講演会へ運営スタッフとしての関わり。(11月頃を予定) ・「山形市聴こえくっきり事業」のヒアリングフレイルチェックへの協力 (5月研修受講・~7月ヒアリングフレイルチェック当日従事)</p> <p>⑤ スタッフのスキルアップ 相談対応力向上や在宅医療最新情報、動向を得ることを目的とした研修会への参加 ・上野千鶴子講演会「おひとりさまの老後」受講 ・インテグレーター養成講座、エンドオブライフケア学会等</p>	<p>① 拡大運営会議を含む運営会議の効果的開催 5月、8月、12月、3月 「地域の認知症ケアに関する医療と介護の連携について」は次年度の拡大運営会議で実施予定</p> <p>② ポピーホームページの充実(1) ②参照</p> <p>③ 各種会議・打ち合わせへの参加(随時) ・在宅医療連携推進の会(傍聴)・村山地域保健医療協議会・緩和ケア研究会 ・市自立支援型地域ケア会議・地域ケア調整会議・権利擁護部会 ・村山医療介護連携拠点連絡会情報交換会(4月、6月、12月、3月) ・南沼原地域包括事業計画説明会・事業報告(ふれあい、かがやき、書面・意見提出) ・精神保健福祉士協会理事会(~7月理事退任) ・市と基幹型との定例会(毎月)・おれんじチームとの情報交換(毎月) ・いっぶぐカード検討ワーキング(随時)</p> <p>④ 地域の医療や介護の課題に関する事業への協力 ・「山形市聴こえくっきり事業」のヒアリングフレイルチェックへの協力 (5月11日研修受講・6月22日、7月6日、7月27日) ・認知症医療ネットワーク構築に向けた協力(会議参加・準備・研修運営など)</p> <p>⑤ スタッフのスキルアップ ・4月15日(日)上野千鶴子講演会「おひとりさまの老後」聴講(フォーラム検討) ・9月4日~5日予定 大場 訪問看護実習(訪問看護ステーションやまがた) ・10月7日 東北緩和医療研究会 小笠原文雄氏講演会 聴講 ・10月19日 在宅医療介護連携都道府県市町村担当者等研修会議(ZOOM) ・10月31日 難病患者の在宅支援のための研修会 ・11月7日 定着支援センター研修会(村山保健所) ・11月17日 認知症情動療法地域連携交流会(東北厚生病院) ・11月20日 講演「つながろう、在宅医療を支える訪問看護師とケアマネジャー」 ・11月24日 医療と福祉のDX~地域課題とICT活用 医療介護連携室たんぼぼ ・1月19日 山形県地域包括支援センター等協議会プレゼン・勉強会 ・1月24日 居宅介護支援事業所等研修会 2月19日 権利擁護セミナー ・2月20日 居宅介護支援事業所等研修会 2月22日「法律の専門家から学ぶ権利擁護」</p>